

- 鳥取県では、県産材の利用拡大のため、非住宅建築物への木材利用を推進している。
- 非住宅建築物の木造化や内外装木質化について、補助事業を実施した。

□ 事業内容

非住宅木材活用推進事業

- ・ 県産材を使用した非住宅の木造化、内外装木質化について支援。
- ・ 補助率
木造化：45千円×使用材積（m³）（上限1,350千円）
内外装木質化：事業費の1/2（上限1,000千円）又は1/3（上限666千円）

【事業費】29,333千円

（譲与税は、木造化に係る部分に充当）

【補助実績】11,513千円（うち譲与税5,980千円）

木造化10件、内外装木質化3件

□ 取組の背景

- ・ 県産材を利用した木造住宅に対する補助事業は従前より制度化されていた。
- ・ 木材利用率の低調な非住宅について、利用促進を行うことで県産材の利用を推進するため、令和3年度から補助事業を開始した。



（公民館の木造化）



（診療所の木造化）



（プログラミング教室の
内装木質化）

□ 工夫・留意した点

- ・ 一般の方にも理解しやすい制度となるよう補助要件等の簡素化に努めた。
- ・ 工務店、設計者等への周知を定期的に行っている。

□ 取組の効果

- ・ 事業実績は年々増加しており、県内の非住宅の木造化及び県産材の利用が推進されている。
令和3年度：8件 令和4年度：12件 令和5年度：13件
- ・ 建築に使用した木材の炭素固定量を認証する「とっとりカーボンストレージ認証制度」を併せて制度化しており、施主、施工者等の木材を利用する意義について普及啓発を行っている。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：76,028千円	②私有林人工林面積（※1）：105,333ha
③人口（※2）：553,407人	④林業就業者数（※2）：835人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より

- ▶ とっとり出合いの森は、約80ヘクタールの園内に様々なコースの林内散策路や県産材を使用したドーム状の管理棟などがあり、四季折々の美しい自然の中で森林とのふれあいを楽しむことができる森林公園となっている。
- ▶ 当該修繕工事では、本市を原産地とする杉の原木が資材として用いられており、認定を受けた業者が高精度の加工処理を行うことで、高品質・高耐久の木製遊歩道として完成した。

□ 事業内容

森林公園とっとり出合いの森 遊歩道修繕工事

とっとり出合いの森施設内に、木柵および木製階段を設置。

【事業費】 13,805千円 (全額譲与税)

【実績】 木材使用量 8.95㎡ (全て国産材)

木柵 120m、木製階段 110段

□ 取組の背景

- ・当該施設は、平成11年に開園した森林公園で、鳥取県及び本市に存する合同委員会が選定した指定管理者により維持管理運営が行われている。
- ・点検業務を毎年実施し、計画的に維持修繕を行っているが、当該修繕施設は、長年の利用により老朽化が激しく、特に安全性を求められる施設であることから令和6年度に直営で修繕工事を実施した。
- ・令和5年には木製遊具を設置した。



(完成した遊歩道の様子)



(木製遊具の様子)
※令和5年設置

□ 工夫・留意した点

- ・当該施設は、親子遠足で園児らが散策する人気のエリアであるため、実際に手の触れるところに木材を使用することで温かみを感じることができるようにした。
- ・子供からお年寄りまで幅広い層の施設利用者が訪れることから、施工にあたり、森林公園としての機能・景観を損なうことなく、耐久性・安全性を確保できるように留意した。

□ 取り組みの効果

- ・環境に配慮しつつ施設利用者が安全・安心に利用できる遊歩道として完成し、さらなる利用者の増加が期待できる。
- ・木を身近に感じ、木とふれあうことで、自然への親近感や興味を持つことで森林資源への関心を持ち、更なる木材利用促進や鳥取県が進めている木育に取り組む意識を持ってもらう事ができた。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額	128,792千円
②私有林人工林面積(※1)	22,730ha
③林野率(※1)	71.4%
④人口(※2)	188,465人
⑤林業就業者数(※2)	268人

※1 「令和6年度(令和5年度版)鳥取県林業統計」より

※2: 「R2年国勢調査」より

- ▶ 琴浦町では、「琴浦町林道施設長寿命化計画」を作成し、これに基づき、林道施設の維持管理、診断サイクルの構築のため林道橋の定期点検を行っている。
- ▶ 定期点検の実施により各橋の現況を把握することで、効果的かつ効率的な維持管理・更新の実施につなげていくこととしている。

□事業内容

令和6年度林道橋点検業務

- ・ 5年に1度の法定点検
- ・ 補助率：50%
- ・ 点検方法：点検車（5橋）、梯子（8橋）

【事業費】5,280千円（うち譲与税2,415千円）

【実績】橋梁点検：13橋

□取組の背景

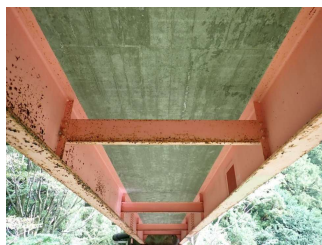
- ・ 林野庁インフラ長寿命化計画では、施設のメンテナンスサイクルの構築を図り、将来にわたって求められる機能を適切に発揮し続けるための長寿命化対策の充実を図るとされており、琴浦町においても、琴浦町林道施設長寿命化計画を作成し、5年毎に林道施設の点検を実施することとしている。



（上部工）



（下部工）



（基礎）

□工夫・留意した点

- ・ 遠方より損傷の形状や幅を計測できる光波測定器「KUMONOS」と高解像度カメラを組合せた高精度点検システム「シン・クモノス」を活用し、構造物表面の変状を確認することを検討した。
- ・ 本年度の点検対象の橋梁は、近接目視点検が可能な箇所（交通規制による交通への影響が少ない）であったため、上述の新技术を活用しないこととしたが、新たな点検方法の可能性を見出すことができた。

□取組の効果

- ・ 林道橋13橋に対して、補修の必要やその緊急性を4段階で評価し、各橋の状況を把握した。
- ・ 今後は、点検結果を踏まえ、各橋梁の個別施設計画に基づき順次修繕を実施する予定。

◇基礎データ

①令和6年度譲与額：17,080千円	②私有林人工林面積（※1）：2,894ha	
③林野率（※1）：62.5%	④人口（※2）：16,365人	⑤林業就業者数（※2）：13人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より